

村議会だより



■ 現地調査の様子

12月15日宇検村発注事業の「赤土山展望台」の現場を視察しました。

世界自然遺産登録候補地の湯湾岳が一望でき、大変見晴らしの良い展望台が完成しています。

■ 事業の内容

事業名：赤土山展望台整備事業

事業費：1,500万円

事業内容：東屋1基・ベンチ3基

展望案内板1基

外柵70m



■ 発行・編集／宇検村議会

議会だより編集委員会

議長 前田 啓一

委員長 元山 公知

委員 幸 春美

委員 吉永 常明

TEL0997-67-2211

● 主な内容

審議案件等	7
12月定例会の審議案件等	8
補正予算	9
一般質問	10～14
編集後記	14

平成23年 第2回臨時会で審議された案件

議案番号	議案名	議決結果
議案第 43 号	宇検村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決
同意第 7 号	宇検村固定資産評価審査委員会委員の選任について	可決
同意第 8 号	宇検村固定資産評価委員の選任について	可決

平成23年 第4回(12月)定例会で審議された案件

議案番号	議案名	議決結果
議案第 44 号	平成 23 年度宇検村一般会計補正予算について	可決
議案第 45 号	平成 23 年度宇検村国保事業特別会計補正予算について	可決
議案第 46 号	平成 23 年度宇検村国保施設事業特別会計補正予算について	可決
議案第 47 号	平成 23 年度宇検村簡易水道事業特別会計補正予算について	可決
議案第 48 号	平成 23 年度宇検村農業集落排水事業特別会計補正予算について	可決
議案第 49 号	平成 23 年度宇検村漁港漁村集落排水事業特別会計補正予算について	可決
議案第 50 号	平成 23 年度宇検村宇検村介護保険事業特別会計補正予算について	可決
議案第 51 号	平成 23 年度宇検村後期高齢者医療事業特別会計補正予算について	可決
議案第 52 号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び同組合規約の変更について	可決
議案第 53 号	奄美自治会館管理組合の解散について	可決
議案第 54 号	奄美自治会館管理組合の解散に伴う財産処分について	可決
議案第 55 号	大島地区衛生組合を組織する地方公共団体の数の増加及び大島地区衛生組合規約の変更について	可決
議案第 56 号	字の区域変更について	可決
発議第 2 号	T P P (環太平洋連携協定) 交渉参加反対に関する意見書について	可決
発議第 3 号	郵政改革法案の早期成立を求める意見書について	可決

※第2回臨時会同意7号については、宇検村湯湾 伊村 博文氏、同意8号については、宇検村湯湾 石原 将央氏が選任されました。

発議第2号 TPP(環太平洋連携協定)交渉参加反対に関する意見書(抜粋)

わが国は、戦後最大の自然災害となった東日本大震災に見舞われ、未来に向けて学ぶべき多くの教訓を得ました。食料安全保障もその一つであり、一時的な食糧供給不足を経験したことで、過度に貿易に依存するのではなく、地域・国内で食料生産を行うことが、いかに重要であるかを多くの国民が再認識することとなりました。

こうしたなか、例外なき関税撤廃を原則とする TPP は、食料供給を海外に依存し、国土を荒廃させるものであり、国内農業や地域経済の振興とは到底両立できるものではありません。

TPP は、被災農家の将来に向けた営農意欲を挫き、復興の足かせにしかならないばかりではなく、地域経済・社会ひいては国民生活全体に悪影響を及ぼすものであり、TPP 参加検討を直ちに中止されるよう強く要望申し上げます。

※ TPP とは、「環太平洋戦略的経済連携協定 (Trans Pacific Partnership)」の略称。太平洋周辺の広い地域の国、例えば、日本、中国、東南アジア諸国、オセアニア諸国、アメリカなどが参加して、自由貿易圏を作ろうという構想です。

発議第3号 郵政改革法案の早期成立を求める意見書(抜粋)

平成 19 年 10 月、郵政民営化法に基づき民営・分社化され、様々なサービスダウンが生じ、地域住民から不満の声が多く寄せられています。当村においては、金融機関が郵便局のみという地域が多数あり、住民生活にとって死活問題であると懸念しています。

全国 24,000 郵便局ネットワークは国民共有の財産であり、生活に必要な不可欠なライフラインでもあります。それを今後も維持し、更に地域社会が有効活用していくためにも、一刻も早い郵政改革法案を成立するよう強く要請します。

※両意見書については、関係省庁へ提出いたしました。

第4回
定例会

平成23年度一般会計補正予算 8,567万7千円可決

総額26億5,645万円

12月議会は、12月14日から16日までの3日間の会期で開催されました。

平成23年度一般会計補正予算、特別会計補正予算のほか規約の変更等が審議され、すべての議案が原案のどおり可決されました。

補正による主な事業

河川改修費

800万円

田検小勝川40m
の改修工事



小規模住宅改修費

490万円

名柄地区1棟の
住宅改修工事



枯損木除去事業

290万円

県道沿いの枯れ
松の除去



ハブ対策費

80万円

ハブ買い上げ金
200匹分



■平成23年度特別会計補正予算

事業名	補正額	総額
宇 検 村 国 保 事 業	38,585 千円	3 億 8,835 万円
宇 検 村 国 保 施 設 事 業	13,285 千円	7,459 万円
宇 検 村 簡 易 水 道 事 業	4,450 千円	2 億 1,814 万円
宇 検 村 農 業 集 落 排 水 事 業	800 千円	7,496 万円
宇 検 村 漁 港 漁 村 集 落 排 水 事 業	399 千円	1,707 万円
宇 検 村 介 護 保 険 事 業	143 千円	3 億 1,324 万円
宇 検 村 後 期 高 齢 者 医 療 事 業	744 千円	3,647 万円

一般質問 村政を問う

※一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、村長の考え方や村政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

（教育長）阿室校区は平成25年度まで、名柄校区については平成27年度まで、5年間の事業として行政支援を行う考えであるが、平成26年度から急激に児童生徒が減少する久志校区、平成29年度には単式学級が危惧される田検小学校でも、地域の盛り上がり次第で検討



吉永 常明 議員

親子山村留学制度の今後の取り組みは。重枝教育長／5年間の事業として行政支援を行う。

（吉永議員）親子山村留学制度は、平成21年9月からスタートしたが、平成24年3月をもって終了すると聞いているが、今後の取り組みは。

しなければならぬと考えている。



▲ 山村留学制度を実施した阿室校

崎原地区の村営住宅建設は。

元田村長／建設計画を策定したい。

（吉永議員）湯湾地区建設（川田団地）終了後の建設計画は。また、崎原地区においては、村営住宅が建設されると期待しているが、今後の計画は。

（村長）平成23年度で川田団地は終了。平成24年度

以降の計画は、村営住宅の長寿化計画を策定し、村内8団地48戸の現状調査を行い、住宅の改修・補修・バリアフリー化などの計画を行いたい。平成25年度からは議会で採択された、崎原地区への村営住宅建設を十分に配慮した建設計画を策定したい。小規模住宅改修工事は、村全体で19戸整備し、平成24年度以降は財政状況を勘案しながら、建設計画を策定していきたい。



▲ 平成23年度で建設が終了する湯湾地区川田団地

公開討論会の開催は。元田村長／是非、開催したい。



稲澤 紀穂 議員

（稲澤議員）公開討論会の意義は。

（村長）議会と村当局だけで懲戒審査委員会の話し合いを持ちましょうとの申し出があったが、広く村民にオープンにしても良いのではと思って発言した。

（稲澤議員）公開討論会についての詳細は。

（村長）是非、実施したいと思っているが、今のところ、どこが主体になるか、討論方法をどうするか、検討中である。

マニフェストの進歩状況は。

元田村長／懸命に取り組んでいきたい。

(稲澤議員) 就任1年を前にしてマニフェストの進歩状況の評価は。

(村長) それぞれの項目については、種をまいただけだと考えている。今すぐ村民の目に届く結果は見えないが、マニフェスト実行に向かって、懸命に取り組んでいきたい。

地元業者の育成の解決策は。

元田村長／分割発注をお願いしている。

(稲澤議員) 制度改正により、公共事業一般競争入札で地元業者は厳しい状況にあると聞いているが、地元業者育成の解決策は。

(村長) 村発注の入札は、



▲ 佐念名柄間の県道工事

村内船業者を指名している。県発注工事においては、分割発注・指名入札とし、村内業者が受注できるようにお願いしている。

(稲澤議員) 今後の公共事業計画の見通しは。

(村長) 現在実施中のほとんどの事業が平成24年度で終了である。新規事業としては、平成24年度から林道佐念線の開設を計画している。平成25年度以降は、村民の要望を随時聴きながら、長期振興計画に照らし合わせて考えたい。



長田 新一 議員

防災対策は。

元田村長／安心安全で暮らせる村づくりを構築。

(長田議員) 6月議会以降の各集落の避難場所について、どのように対応したか。

(村長) 村内14集落の避難所の標高調査を行った。防災計画の充実を図るため、避難管理運営マニュアルを策定し、各集落区長に配布した。

防災道路の整備については、久志集落が緊急を要すると判断し整備した。その他の集落においても、整備を必要としていますので財政状況により年次計画し、安心安全に暮らせる村づくりの構築をしていきたい。



▲ 現在、湯湾集落内に整備中の防災道路

(長田議員) 宇検村地域防災計画で指定している場所は安心できる避難場所と答弁されているが、現状では街灯も付いていなく不十分と思うが、村長の考えは。

(村長) 確かに街灯は付いていない。完全な防災マップは作成されていない。今後、避難場所の指定の在り方、防災上の在り方を議論する必要がある。防災道路についても、緊急を要するところからきちんと取り組んでいきたい。



▲ 昨年3月11日に発生した東日本大震災時に設置され、対応を検討する災害対策本部

(長田議員) 地震発生時の行政の対応は。(総企画課長) 行政の体制作りは、震度4で関係課職員による警戒本部、震度5以上で職員全員による対策本部を設置。今回(平成23年12月11日)の地震は震度3ということでしたので、住民に周知する地震ではないと判断した。

(村長) 防災マニュアルを作成して対応している。今後、見直しが必要であれば対応していきたい。



元山 公知 議員

新規就農者への援助は。
元田村長／積極的に支援
していきたい。

(元山議員) 新規就農総合支援事業の情報を提供し、やる気のある方々の発掘に早急に取り組むべきだと思いが、村長の考えは。

(村長) 村広報誌に概要等を掲載し、周知していく予定である。やる気のある就農者が出てくれば、積極的に支援していきたい。

(元山議員) この事業は、定住促進としても使え、村外にも情報発信すべきだと思うが、村長の考えは。

(村長) 内容について吟味しながら、関係部署に発信したい。

【青年就農給付金の主な内容】

	準備型	経営開始型
支援内容	原則 45 歳未満で就農する人に対して、研修期間中について年間 150 万円を最長 2 年間給付	原則 45 歳未満の独立・自営就農業者について年間 150 万円を最長 2 年間給付
交付要件	都道府県が認める研修機関・先進農家などで、おおむね 1 年以上研修すること	人・農地プランに位置づけられていること(見込み含む)



(元山議員) 最近は T P P 問題が世間を騒がせているが、この問題に関係なく、本村独自の農業振興策を打ち出すべきだと思うが、村長の考えは。

(村長) サトウキビの出荷、ハーベスタ、カボチャ苗、良質堆肥等助成を行っている。今後、意欲のある若手就農者へは、奄美市の営農センターへの研修等積極的に支援したい。

(元山議員) 農家の方々から「役場に相談しても返事が遅い。できる、できないとの返事を早く出して欲しい。」と聞きました。スピード感というのは大切だと思うが、村長の考えは。

(村長) 総合受付等設け、村民の声をきちんと受け止めて、早く対処できるように取り組んでいきたい。

(元山議員) 大和村では、市場代行便という事業をして好評だが、本村ではこの

ような事業の計画はないか。
(建設経済課長) 今のところ計画はないが、今後、要望が増えれば検討してみたい。

宇検村の魅力を発信するための方策は。
元田村長／観光コーディネートターを育成したい。

(元山議員) うけん市場は、現在、農林水産物の販売が主だが、今後観光情報の発信や観光事業の面からも期待されている。観光振興をどう進めていくか。

(村長) うけん市場を拠点に滞在型観光、体験型観光を確立するため、観光コーディネートターの育成や、マグロの給餌体験、焼内湾のクルージング等、陸上、海上の観光を充実させ、観光客誘致を積極的に推進したい。

(元山議員) 瀬戸内町と連携して、屋鈍く曾津高崎線

を活かした、西回り観光ルートを作るべきだと思うが、村長の考えは。

(村長) 瀬戸内町や大和村と広域的に取り組んでいきたい。

(元山議員) 人気のある観光地は、口こみで広がっていくと思う。そのためには、いつ行っても漂着物やごみがない、トイレが清潔に保たれていることも大変重要だと思ふ。

観光地の管理費として予算をつけるべきだと思うが、村長の考えは。

(村長) 財政面が厳しいが、前向きに検討したい。



▲ 観光面からも期待される「うけん市場」



喜島 孝行 議員

労働局への返還金問題は。

元田村長／NPO法人より返還していただきたい。

(喜島議員) 鹿児島労働局への補助金返還問題の現在までの経緯は。

(村長) 宇検村雇用創造促進協議会が受けた補助金が、事業の目的外に支出したこと等で、返還を求められたことと、村としての責任を求められたことから、約1,320万円を返還し、私を含め関係職員の処分を行った。労働局への報告をもって一応、終止符を打つたと考えている。

(喜島議員) 村が雇用創造促進協議会へ提出した償還金

の処理は。

(村長) 協議会と事業の再委託先であるNPO法人うけんMareMareと交わした確約書に基づいて、うけんMareMareより返還していただくよう進めていく。

TPP交渉参加問題への対応は。

元田村長／関係機関と連携を密にして対応したい。

(喜島議員) TPPに参加することによって、奄美の農業は壊滅的な影響を受けるものと懸念される。村としてどう考えているか。

(村長) TPPの交渉内容が大変重要なので、関係機関との連携を密にし、農家に不利益が生じないように、要請活動を行っていきたい。

(喜島議員) TPP交渉参加への反対集会等を開催する

考えはないか。

(村長) 現在のところ計画はない。必要であれば、村全体でいろんな活動を続けたい。

幸福度調査をする考えはないか。

元田村長／前向きに検討したい。

(喜島議員) ブータンのワンチュク国王夫妻が訪日され、被災地を見舞われた姿に大変感銘を受けた。

ブータンでは100%近くの国民が幸せだと感じているようだが、宇検村でも幸福度調査等する考えはないか。

(村長) 長期振興計画等と照らし合わせながら、前向きに検討したい。



松井 辰夫 議員

活性化センター結の館の活用は。

元田村長／タンカン収穫期までに稼働させたい

(松井議員) 活性化センター結の館は、現在休止状態になっている。詳細と今後の活用方法と運営は。

(村長) 早く稼働させるべく、施設内部の機械のメンテナンス及び使用方法等について、機器メーカーと平成23年2月、7月、11月と打ち合わせをしている。

タンカン収穫期前までにメンテナンスを終了させ、元気の出る公社が運営しようと考えている。

(松井議員) 機器メーカーの株式会社アビーとの契約は。

(総企課長) 株式会社アビーとNPO法人うけんMareMareとの間で、CASの使用、CASマークの使用についての商標関係の契約をしている。

(松井議員) CASシステムを購入したのは宇検村です。宇検村と株式会社アビーが契約すべきではないか。

(総企課長) 株式会社アビーとの協議で、元気の出る公社と契約をするということが、11月に決まった。

(松井議員) 株式会社アビーから購入した機材の保守契約は。

(建設経済課長) 内容を精査して報告したい。

(松井議員) JAあまみの選果場に大型保冷庫が設置されているが、JAあまみとの賃貸契約はなされているか。

(建設経済課長) 調査して報告したい。



幸 春美 議員

職員の仕事規律について問う。

元田村長「襟を直し職務に精通するよう指導する。」

（幸議員）「役場の雰囲気はだらけている」と一部村民の声があるが、職員の仕事規律について、どのように把握し、指導しているか。

（村 長）他町村に劣らない優秀な職員であると自負している。今後も宇検村職員の宣誓に関する条件規定に基づき襟を直し、職務に精通するよう指導していきたい。

（幸議員）宇検村職員仕事規定第4条仕事の原則の言語・対応について、職員の仕事面を汚すような行動が見

受けられるが、把握しているか。

（村 長）職員の仕事に対しての横柄な態度・暴言を吐く等があれば、きちんと対応したい。

（幸議員）人事の件について、村民かつ業者が承認するよう根回しをしてきた事実があるが、後々の利益供与に繋がらないのか。

（村 長）具体的な事実がなければ、答弁できる問題ではない。



議会のうけ

10月

- 5日 第一回臨時会
- 6日 政経セミナー in 鹿児島（鹿児島市）
- 9日 村民体育大会
- 13日 例月監査
- 18・19日 大島本島南部振興協議会陳情（鹿児島市）

11月

- 11日 介護保険一部事務組合議会定例会
- 消防組合議会定例会
- 農業共済議会定例会
- 生涯学習大会
- 13日 生涯学習大会
- 14～17日 月例監査・定期監査
- 15～17日 町村議会議長会全国大会（東京）
- 22日 宇検村合同金婚式
- 24日 奄美群島広域事務組合議会
- 28日 第二回臨時議会

12月

- 2日 議会運営委員会
- 5日 議会議長・議事事務局長研修会（奄美市）
- 6日 監査委員・補助職員研修会（奄美市）
- 12日 例月監査
- 14～16日 第四回定例会

【編集後記】

「地震」「津波」の甚大な被害をもたらした東北大震災や、その影響による「原発事故」が起きて、一年の歳月が流れようとしています。巨大津波が街を流していく様子は、あまりにも酷い惨劇で、世界中がショックを受けたことだと思います。

現在でも、避難所、仮設住宅生活を余儀なくされた被災者、ガレキの処分問題、行く先のない原発問題等、課題は山積されたままです。被災者の皆さんが安心して暮らせる日が、一日でも早く訪れることを願うばかりです。

復興には、長い年月を費やすことでしょうが、被災地から復興地へと着実に前へ進んでいます。

今年、辰年。龍のごとく奄美・日本・世界中が天高く昇っていったほしいものです。